

6. 設置・管理運営の主体

次のいずれがよいか、それぞれの長短を比較し、慎重な検討を要する。

- (1) 国
- (2) 特殊法人
- (3) 財団法人

A 一部国庫補助一部民間資金

B 全額国庫補助

7. 機構および役職員

(1) 機構および業務内容

A 所長

全体の統轄

B 所長の下に次の各部をおきそれぞれ業務を分担する。

(A) 総務部

a センターの管理運営に関する事項（庶務、会計、人事等）

b センター運営審議会に関する事項

c 渉外に関する事項

(B) 研究部

a 調査研究の企画に関する事項

b 外国人のための日本語教育学会との連絡に関する事項

c 調査研究に関する事項

d 資料の整備に関する事項

e 図書室の運営に関する事項

備考

- ① 研究部には研究部長の諮問機関として調査研究企画委員会を置く。
- ② 調査研究企画委員会は各部長をもつて構成する

(C) 教育部

- a 日本語学校の経営に関する事項
- b その他

(D) 養成研修部

- a 日本語教授者の^{養成}に関する事項
- b 日本語教授者の現職教育に関する^{事項}
- c 海外派遣日本語教授者の推せんに関する事項
- d 海外日本語教授者に対する指導と助言に関する事項

(E) 教科用図書編さん部

- a 教科書用図書の編さんに関する事項
 - (a) 各種教科書、教材の編さん
 - (b) 日本語教授者用指導^{解説}書の編さん
 - (c) 各種辞典の編さん
- b 上記の刊行、頒布および販売に関する事項

(2) 役職員

センターには所要の常勤役職員を置く

8. 施設

(1) 敷地面積

10

できれば10,000坪を確保する

(2) 施設

A 事業関係

(A) 調査研究関係

- a 研究室
- b 資料収集整理室
- c 印刷室

(B) 日本語教育関係

一日本語学校一

- a 日本語学校長室
- b 日本語学校事務室
- c 普通教室
- d ランゲージ・ラボラトリー
- e 教材整理室
- f 視聴覚教室
- g 理科実験室
- h 音楽教室
- i 図書室
- j 保健室
- k 講堂
- l 体育館
- m 寮 (Language Domitory)
- n 教授者室
- o 教授者研究室

(C) 日本語教授者養成等関係

一養成・研修部一

11

- a 普通教室
- b 図書室
- c 控室
- d 教授者室
- e 教授者研究室
- f 養成・研修部事務室

(D) 教科用図書編さん関係

- a 研究室
- b 資料収集整理室
- c 印刷室

B 管理関係

- (A) 所長室
- (B) 応接室
- (C) センター運営審議会室
- (D) 「外国人のための日本語教育学会」連絡室
- (E) 会議室
 - a 大 3
 - b 小
- (F) 各部長室
- (G) 各部事務室
- (H) その他

7. 経費

- (1) 臨時費(建設費)
- (2) 経常費

10 設立のための準備費

- (1) 国内日本語教育実態調査費

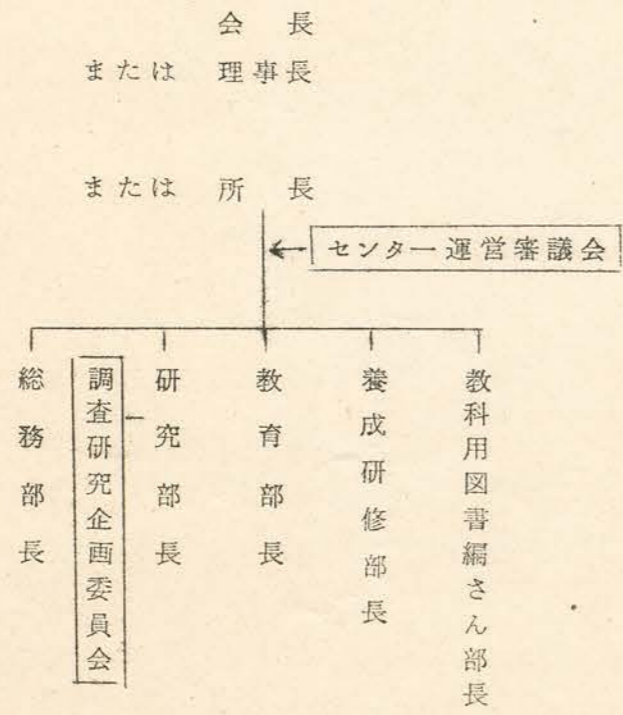
(2) 東南アジア・中近東日本語教育実態調査費

(3) 先進諸国における語学教育の実情調査費

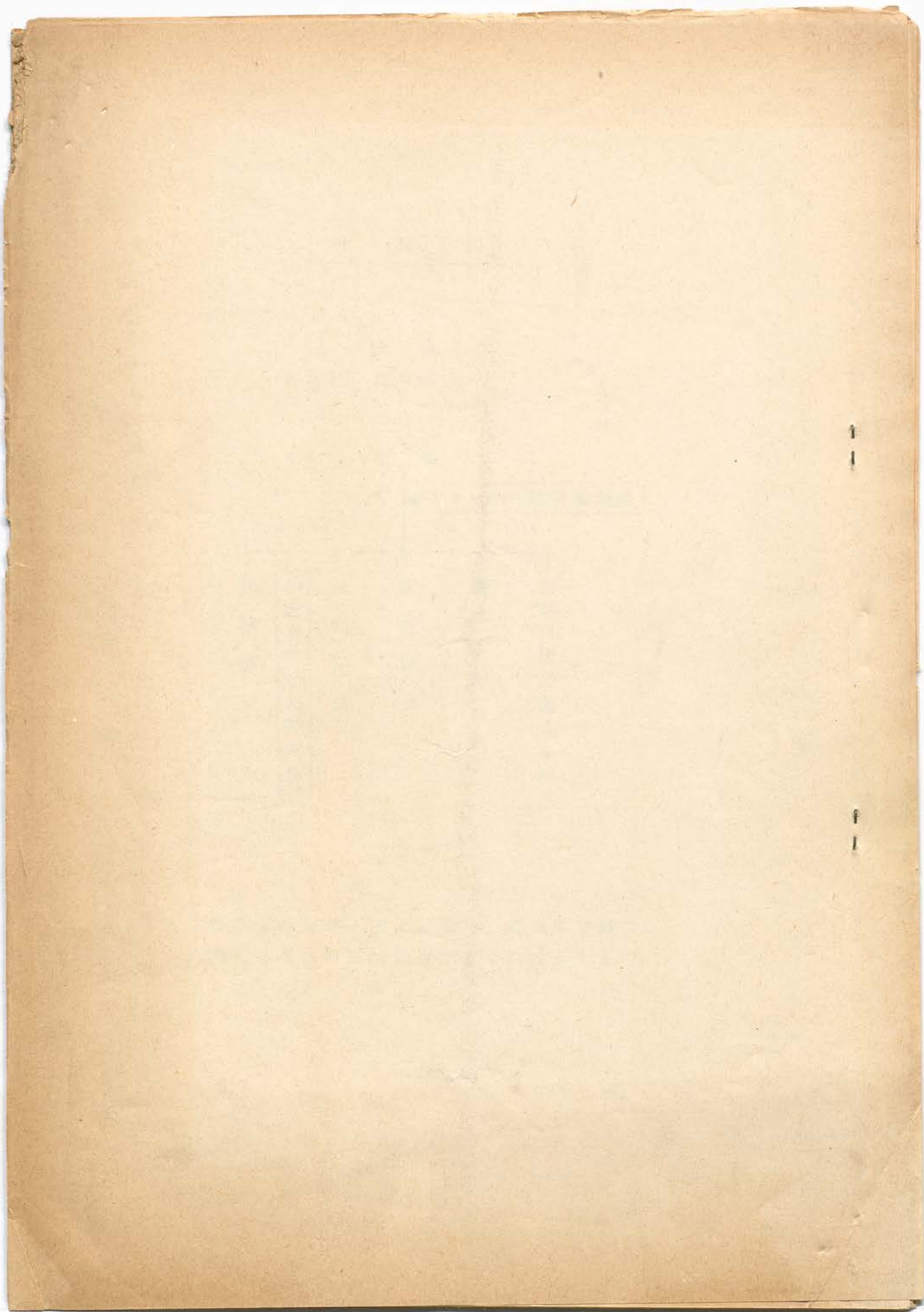
A	アメリカ	2人
B	ソ連	1人
C	ドイツ	1人
D	フランス	1人

(4) 一般調査事務費

機 構 図



注 この「センター運営審議会」委員の半数は、
外国人のための日本語教育学会の役員をもつ
てあてることとする。



浅野鶴子殿

文調国第169号

昭和40年9月1日

文部省調査局長

蒲生芳郎



外国人留学生のための辞典編集について(通知)

下記によって、基本語用例辞典の編集会議(第6回)を、
開きますからご出席ください。

記

日時 昭和40年9月3日(金)

午後2時～5時

場所 文部省第2会議室(6階)

議題 1. 採録用語の選定について

2. その他

足代
23



文調国第169号
昭和40年9月22日

浅野鶴子殿

文部省調査局長

蒲生芳郎



外国人留学生のための辞典編集について(通知)

下記によって、基本語用例辞典の編集会議(第7回)を開きます。ご多用中恐れ入りますがご出席くださいますようお願いいたします。

記

日 時	昭和40年9月24日(金) 午後2時～5時
場 所	日本学校給食会(4階会議室)
議 題	1 採録用語の選定について 2 執筆例の検討 3 その他

文部省第169号
昭和40年9月29日

浅野鶴子殿

文部省調査局長

蒲生芳郎



外国人留学生のための辞典編集について（通知）

下記によって、基本語用例辞典の編集会議（第8回）を開きます。ご多用中恐れ入りますが、ご出席くださいますようお願いいたします。

記

日時 昭和40年10月1日（金）
午後2時～5時
場所 会計検査院 官房会議室（2階）
議題 1 執筆例の検討
2 その他

文調国第169号
昭和40年10月5日

浅野鶴子殿

文部省調査局長

蒲生芳郎



外国人留学生のための辞典編集について（通知）

下記により、基本語用例辞典の編集会議（第9回）を開きます。ご多用中恐れ入りますがご出席くださいますようお願いいたします。

記

日時 昭和40年10月8日（金）
午後2時～5時
場所 文部省第2会議室（6階）
議題 1 内容例の検討
2 その他

文調国第169号

昭和40年10月12日

浅野鶴子殿

文部省調査局長

蒲生芳郎



外国人留学生のための辞典編集について(通知)

下記によって、基本語用例辞典の編集会議(第10回)を開きます。
ご多用中恐入りますが、ご出席くださいますようお願いいたします。

記

日時	昭和40年10月15日(金)
	午後2時～5時
場所	国立教育会館第5会議室(※階)
議題	1 編集方針の問題点について 2 その他

文調国第169号
昭和40年10月19日

浅野鶴子殿

文部省調査局長

菊生芳郎



外国人留学生のための辞典編集について(通知)

下記により、基本語用例辞典の編集会議(第11回)を開きます。ご多用中恐入りますがご出席くださいますようお願いいたします。

記

日 時	昭和40年10月22日(金) 午後2時～5時
場 所	国立教育会館第4会議室(5階)
議 題	1 編集方針の問題点について 2 その他

浅

野

鶴

子

殿

東京都千代田区霞ヶ関三丁目四番地

文 部 省

友部

浅野鶴子殿

東京都千代田区霞ヶ関三丁目四番地

文

部

省

渋谷区南平台 38

東京日本語学校長 殿



東京都千代田区霞ヶ関三丁目四番地

文

部

省

調査局国語課

14

文 部 省

文調国第 52号

昭和47年2月5日

東京日本語学校長 殿

文部省調査局長
蒲 生 芳 郎



日本語教育の資料調査について (依頼)

さきに、ご協力をお願いしました日本語教育の調査研究にあたりまして、このたび、日本語教育に関する資料調査を実施したいと存じます。

ついでには、下記によって貴校の浅野鶴子氏をお願いしたいと存じますので、ご多用のところよろしくお願ひします。

記

用 務	日本語教育資料調査
用 務 先	北海道大学
期 間	昭和47.2.12～16
旅 費	文部省負担

東京都千代田区霞ヶ関3丁目4番地
電話・霞ヶ関 (581) 4211-4246

本件についての照会・回答には必ず
上記書類番号・月日を付して下さい。



浅野鶴子殿

世田谷区玉川用賀町二一五三一

東京都千代田区霞ヶ関三丁目四番地

文

部

省

調査局国語課

昭和40年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所 世田谷区玉川用賀町 2-531	氏名		(フリガナ)										
				(役職名)	浅野 鶴子									
種別	支払金額	源泉徴収税額		法第190条の規定による超過額(非)又は不足額	合計(差引)税額									
手当	2,000	0			0									
給与所得控除後の金額	扶養親族の数		障害者の数	社会保険料の金額		控除した生命保険料の金額	控除した損害保険料の金額							
	13才以上の者	13才未満の者		申告したもの	当該給与から控除したもの									
	人 従 人	人 従 人	人	円	円	円	円							
控除対象配偶者の有無	(摘要)													
	中途就退職 昭													
有・無	従有・無	夫あり	妻あり	未成年者	15才以上の者	乙表	甲表特選	障害者	老年者	寡婦	勤労学生	死退	災	外
給与所得の支払者	住所(居所)又は所在地	東京都千代田区霞ヶ関3丁目												
	氏名又は名称	文 部 省												

昭和40年分 給与所得の源泉徴収票

支 払 受 け 者	住所又は居所	世田谷区玉川田原町		氏 名	(フリガナ)	浅野 鶴子								
					(役職名)									
種 別	支 払 金 額	源泉徴収税額	法第190条の規定による超過額(赤)又は不足額	合計(差引)税額										
手当	3,000 円	0 円		0 円										
給与所得控除後の金額	扶養親族の数		職 者 の 数	社会保険料の金額		控除した生命 保険料の金額	控除した損害 保険料の金額							
	13才以上の者	13才未満の者		申告したもの	当該給与から控除したもの									
	人 従 人	人 従 人	人	円	円	円	円							
控除対象 配偶者の有無	(摘要)													
	中途就退職 昭													
有・無	従 有・無	夫 あり	妻 あり	未成年者	15才以上の者 人 従 人	乙 表	甲 表 特 殊	障 害 者	老 年 者	寡 婦	勤 労 学 生	死 退	災	外
給 与 所 得 の 支 払 者	住所(居所) 又は所在地	東京都千代田区霞ヶ関3の4												
	氏名又は 名 称	文 部 省												

昭和41年2月1日

浅野鶴子 殿

文部省 調査局 国語課長

中 城 堅 吉

昭和40年分の源泉徴収票について

昭和40年分（1月～12月）の下記事項に対する源泉
徴収票を1通同封でお送りいたします。

記

日本語教育研究会 出席謝金

辞典編集会議 出席謝金